

令和6年度 第2回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月3日（水） 10時00分～12時00分
- 2 開催場所 篠原小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、森下 晃司、小楠 倫嗣、辻村 栄子、石津 正貴、横井 詠子、大瀧 健太、榎本 那美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 長谷川 光洋（篠原協働センター）
- 6 学 校 結城 知則（校長）、藤井 早苗（教頭）、河村 誠（主幹）、岩上 直人（CS担当教職員）、中島 和美（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（浜松市教育委員会教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
- 10 議長の選出

議長については、第1回会議において会長（鈴木直樹委員）が今年度の議長を務めることが決定していることから、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）授業についての感想、意見（授業参観：10時20分～10時50分 北校舎）
- （2）学校の抱える課題と改善策について

12 会議記録

司会の藤井から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業についての感想、意見

10時20分から10時50分まで北校舎の授業を参観し、委員から以下の通りの発言があった。

- ・ 普段の参観会とは異なる、日常的な子供たちの様子を見ることができた。スリッパやヘルメットがきちんと整頓されていて素晴らしい。（大瀧委員）
- ・ 子供が間違った答えを発表しても、先生がユーモアを持って対応しており、子供たちの意欲、主体性が育ちやすい雰囲気が出来ていると感じた。（榎本委員）
- ・ 国語の授業では、身近なものを使って子供たちの興味や意欲を引き出せていた。先生の事前準備も大変だと思うがよく考えられていて素晴らしい。（辻村委員）
- ・ ほのぼのした雰囲気で授業ができていますので、教室に入って参観しやすい。（森下委員）
- ・ 子供たちの掲示物は、先生が誤字脱字を指導してから掲示した方が良いのではないかと。（小楠委員）
- ・ 掲示物について、学年一律の掲示でなく各クラスの子供の活動が分かるような個性のある掲示でもよいのではないかと。（脇本委員）
- ・ めあてを子供たちに決めさせるのも大切だが、先生側のめあて（育てるべき力、授業の方

向性)も子供たちに明示する必要がある。(協本委員)

- ・6年生の授業では、自分たちでめあてを作り、話し合い、まとめるという授業の流れや、班を作るなどの子供の動きがスムーズだった。今までの積み重ねが表れていると感じた。

(直樹委員)

(2) 学校の抱える課題と改善策について

校長より、現在学校が抱えている課題(不登校や不登校傾向、登校しても教室にいられない児童に対応するための人員や教室が不足している)について説明があり、委員より以下の通りの発言があった。

- ・現職の先生でなく、地域の方が勉強についていけない子を別室で教えたり、放課後塾を開いたりするなどのサポートをする案はどうか。(石津委員)
- ・自分が児童の対応をすることを考えると、不登校傾向の子供への対応は繊細な問題もあるので気を遣う。(横井委員)
- ・不登校の予防のために、自分たちが出来ることがあれば協力したい。(大瀧委員)
- ・先生の仕事の負担を軽減するための支援活動を充実させ、先生が子供とコミュニケーションを取る時間を確保できるように協力したい。(石津委員)
- ・地域の方やボランティアの方に子供の対応をしてもらう案は、子供の個人情報保護の問題や勉強を教えるための資格の有無など、繊細な問題や制約が出てくる。(協本委員)
- ・特に高学年になると精神的な面でも対応が難しいことがあるので、経験や資格を持った方をお願いできるのが1番良いのではないかと。(直樹委員)
- ・個々の学力の保証も必要だが、集団生活で身に付けるべき社会性を身に付けさせることも必要である。どこにどのように手を加えていくべきか非常に難しい課題だ。(協本委員)
- ・今後の課題として、学校運営協議会で可能な範囲で継続して考えていくことが大切。(直樹委員)

その他報告事項等

- ・学校支援コーディネーターの石津委員より今学期のボランティアの活動報告があった。
- ・司会から、次回会議は、令和6年12月5日(木)午前10時00分から、会議室で開催する旨の報告があった(内容:授業参観(南校舎)および参観後の感想・意見、支援策の具体化、来年度の教育活動について、学校評価について)。
- ・篠原協働センターより、地域活動の案内があった。
- ・PTA会長の大瀧委員より、旗振り当番の活動(見守り活動)についての報告があった。
- ・校長、教頭、主幹より篠原小学校150周年記念事業(航空写真、記念遊具の設置)について、それぞれ報告および説明があった。